

「音」ってなあに？

活動スケジュール

- ・子どもたちの好きなものを題材とし、リトミックや園内散策を通して、音を探索してみたり、自由に楽器に触れて音を鳴らしたりする機会を設けた。その様子を写真で記録する。
- ・活動後に担任で振り返りを実施。子どもの疑問に対する取り組み方を話し合った。また、保護者にも子どもたちの様子を伝え、共有している。

活動のために準備したものや環境の設定

ふだん使用したことのない楽器（トーンチャイムや木琴など）を準備し、自由に触ったり演奏したりできるようにした。

活動の内容

- ・生活や遊びの中で「こんな音がしたね」と保育室にあるもので音を鳴らして試してみる姿が見られた。手作り楽器をつくり、音に合わせて鳴らす姿も見られたため、簡単な合奏をする機会をつくり、さらに親しみをもてる環境づくりをした。
- ・年長児が運動会で鼓笛隊をしている姿にあこがれを持ち、実際の楽器を演奏したいという声が多く出てきた。今まで触れたことのない楽器の音を聞いたり、実際に触れる機会をつくったりして、音を奏でる楽しさを味わえるようにした。

テーマの設定理由

「音ってなに？」と考えたり、「どんな音がする？」と探したり、子どもたちの発見や気づきを問いとして設定しました。

- ・ピアノを5月からはじめ、楽器に興味を持ち始めた。音の違い、生活の中の音を発見し、気づきを深めた。
- ・音への興味をさらに深められるよう、楽器の購入など環境を整えた。



活動中の様子

- ・どんな音があるか探したり、楽器の音を試してみたり。生活の中にもサイレン音など真似したくなる音がいっぱいあることに気づきました
- ・さまざまな楽器を子どもたちの目の届く場所に設置。「やってみよう」という気持ちを尊重できる環境で、それぞれ興味津々な様子が見られました

楽器を触って、どんな音があるか試してみよう



これはどんな音がする？



どんなつくりになってるのかな？興味津々



みんなで合奏、楽しいね♪

